

## 関連映像紹介：戦傷病者の証言映像の上映

当館1階証言映像シアターにて、当館が今までに制作した戦傷病者の証言映像の中から、今回の企画展テーマ「短歌」に関連する映像をセレクトし、上映いたします。

また、これらの証言者がよんだ短歌をパネルでも紹介いたします。

(開館時間中、以下のプログラムを連続上映)

映像タイトル	証言内容	所要時間
暖かい支援に支えられて	箱根療養所に入所していた脊髄損傷の戦傷病者の証言	9分 55秒
三回の入院を乗り越えて	戦地での病と負傷を経験した戦傷病者の証言	13分 50秒
赤レンガのぬくもり	右腕切断の戦傷病者の証言	13分 3秒
七転八起	日赤救護看護婦の女性と結婚した戦傷病者の証言	14分
失明の恐怖とシベリア抑留	両眼失明の戦傷病者の証言	8分 36秒
かけがえのない同胞とともに (日赤救護看護婦)	南方に派遣された日本赤十字社救護看護婦の証言	14分 19秒
見た目はなんでもないが…	両手機能障害の戦傷病者の証言	9分 36秒
傷痍軍人の妻として…	傷痍軍人の妻3名による鼎談(座談会)	14分 45秒

### 証言内容 一例

#### 「失明の恐怖とシベリア抑留」(8分36秒)

昭和19年10月、千島列島の小島シムシル島(新知島)で敵の投下爆弾により受傷。軍医から左眼回復の見込みなしと告げられる。占守島で終戦を迎えシベリアへ抑留される。厳寒の中、強制労働に従事、右眼も視力乏しくなり医務室を受診。左眼摘出するも右眼の視力戻らず失明。21年末、帰国。東京の国立光明寮に入所し鍼灸を学び、26年、職を得る。同年結婚。

失明により変わってしまった人生、年老いた両親の悲しみを思いやる。

#### 短歌 「戦盲のまぶたにえがく吾が娘花嫁姿あでやかなるか」

★この他にも館内情報検索コーナーで当館制作の戦傷病者の証言映像(全72本)をご自由に検索・ご覧いただけます。